

トミー協働つうしん

発行：南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
企画編集：地域づくり支援員 富山担当 (FAX 0470-57-3002)

〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
メールアドレス：tomiyamachikidukuri@sunny.ocn.ne.jp



第2号



「富山の地域づくりを考える会」に参加した地域づくりに意欲のあるメンバー（鎌田教授を囲んで記念写真）

五年後・十年後の富山地区の姿を見据えた、第一回目の「富山の地域づくりを考える会」が千葉工業大学鎌田元弘教授を迎えて、八月二十七日に富山公民館で開催されました。

「富山の地域づくりを考える会」発起人が参加を呼びかけ、自主的に応募した「地域づくり」に意欲のあるメンバーが出席しました。

当日は、考える会発起人代表の前田正昭区長会長のあいさつで始まり、「市民協働による地域づくり」と題した鎌田教授の講義を聴いた後、五つのグループに分かれてワークショップ（懇談会形式の話し合い）を行い、少しでも自分たちの地域をよくするために出席者全員が知恵を絞り夢や課題を語り、熱い意見を交わしました。（詳細は2・3ページに掲載）

地域を想い、熱い意見を交わしました

～第一回富山の地域づくりを考える会を開催～

36名が
応募

地域づくりに意欲のある36名の方の参加があったね、よかったね!



ワンダフルだワン!

富山の地域づくりを考える会 ～参加者随時募集中～

「地域づくり」は、市民相互そして市がお互いに協力し合っ
て、住みよいまちをつくること大きな目的です。皆さんの知
恵を出し合い、想いや夢などを語り合う、「地域づくりを考え
る会」にぜひ参加してください。

※この「トミー協働つうしん」は、協働でつくる地
域づくりを推し進めていく
ための情報発信広報です。
毎月一回の発行を予定して
います。なお、「トミー協
働つうしん」の名前は、
「トミー」の名で親しまれ
ている富山地区内を走る路
線バスの名前から仮につけ
ました。この協働つうしん
の名は、これから協議会設
立の際に、会員の皆様に名
付けていただきます。



山田在 戸倉勝美さん

私の考える地域づくり②

「地域づくり」について何か行うこ
とが、義務的であったり、苦痛となる
ようだと面白くないものだと思います。
参加する人が、楽しめることが、
何より地域活力につながるのだと思
います。

活動を通じて、人がつながりネット
ワークが広がる、一人ひとりが「楽し
める居場所」が増え生きがいにつなが
る、そんな魅力ある南房総を願いた
いと思います。

道の駅富楽里とみやまで7月31日から8月7日
までの1週間、竹燈のイルミネーションが行われ
ました。最終日には、野外ステージで和田英二さ
んギター・ボーカルと山口靖代さんピアノの
Cocoroneによるコンサートの行われました。



わがふるさと富山②

久枝の海岸（ふるさと富山を参照）

富山代表する民話に大太法師（だいたほ
うし）があります。大男、大太法師の足に
ついていた砂が落ちて、遠浅の久枝の浜に
なつたといひます。

久枝の浜は、江戸の頃から地引網が盛ん
で、広い砂浜には網の干場しても最適でし
た。また昭和前期には、波打際近くから防
風林にかけて、乳牛の飼料となる塩分を含
んだ柔らかく繊維に富む野草が繁茂してい
ました。このような好条件から久枝の人の
中には、酪農に精を出す人が多かったよう
です。

そして、「遠浅の海きよらかに子等あま
た群あそびる岩井よろしも」の菊池寛の



歌の如く、戦前
から子供の海として、関
東一円に知られるよ
うになりました。

トミー協働つうしん

富山地区内では、産業・環境・福祉・ポアンテ
ア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目
的をもっていろいろな活動をしています。今回は、
ECOM竹燈を紹介いたします。



ECOM竹燈 会員数17名：以前と比べて
竹の利用が減ってきている現在、里山を侵食す
る竹林の手入れは欠かすことができませぬ。
ECOM竹燈では、手入れによって切った竹
を、地域の活性化のためにうまく利用していま
す。

「読者の投稿コーナー」 に応募を!

来月号から、「読者の投稿コーナー」を設けるため、皆さ
んから「発表したいこと」「紹介したいこと」の原稿を募集
します。電話やファックス・メールで応募してください。
写真の掲載が必要なときは都合のよい日に撮りに伺いま
す。詳しくは富山支所協働推進室地域づくり支援員
(57-3799)までご連絡ください。



富山のいろいろな 情報をお寄せください

トミー協働つうしん
は、皆さんに未長く楽し
んで読んでいただくこ
ろの掲載を予定していま
す。私たちの地域では、こ
んななお宝が眠っている。
こんな特産品がある。
こんなイベントがある。
メンバーを探している。
などなど、ふるって寄
せてください。

「地域づくりを考える会」では?

みんなまで話し合い、
みんなまでできることから
始めましょう。

- ◎富山の良さを見つけて、活かすことを考えましょう!
- ◎富山をもっと元気にすることを考えましょう!
- ◎子供たちや高齢者の安心・安全にすこせる地域づくりを
考えてみましょう!
- ◎地域の問題をみんなまで話し合い、解決していきましょう!

※第2回目の「地域づくりを考える会」は9月29日です。

◆伏姫と八房のたわ言◆

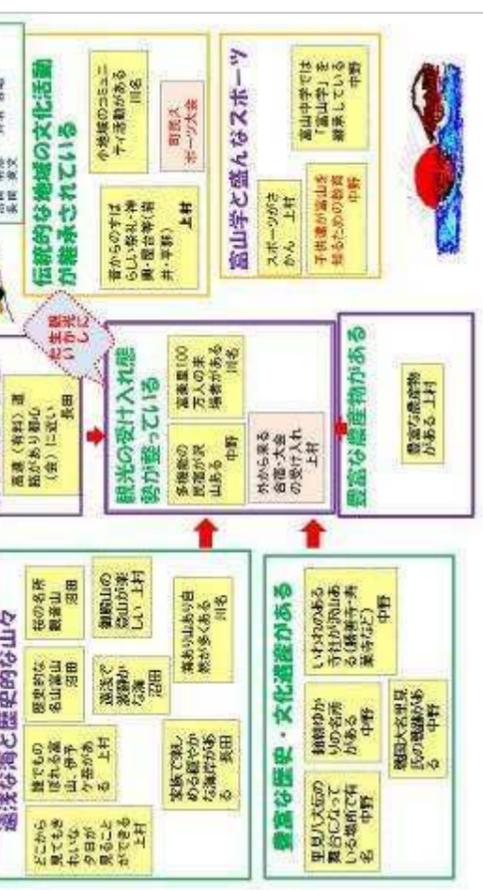
「秋景色、夏賑わいの、海に里」

今年の夏は梅雨明けも早く、猛
暑日が何日も続き、岩井海岸も大い
に賑わいました。また、あまりにも
厳しい暑さで、体調を崩された方も
いたのではないだろうか。

「地域づくりを考える会」は第一
回目が終わりに、会員の皆さんにはよ
い知恵を出していただき、「より元
気のある地域づくり」に向けてス
タートしました。私達も皆さんと
一緒に、元気の出る地域づくりに歩
んでいきます。よろしく願いた
します。 K・M地域づくり支援員

「自分たちのまちを、トンボの目で見よう!」C班

～地域の宝(いいところやコト)を考える～



「自分達のまちをトンボの目で見よう!」E班

～地域の課題(ちよっと困った、これから不安)を考える～



各班とも地域を想う多くの意見が出されましたが、今回は、C班とE班のワークショップの結果を掲載します。次号以降はA・B・D班を紹介いたします。

第2回目以降の考える会の予定

- 第2回目 9月29日(水) 13:30～** 富山公民館
 - ・前回のワークショップを振り返り、「地域の魅力をどのように活かすか」「地域の課題をどのように解決するか」を話し合います。
- 第3回目 10月**
 - ・解決策を掘り下げ、市民にできることを絞り込み、地域づくり協議会で行う事業のアイデアを出し合います。
- 第4回目 11月**
 - ・実現に向けて会員にもできる無理のない事業を中心に計画づくりを行います。

地域をよくする仕組みづくりがいよいよスタート!

～富山の地域づくりを考える会～



第一回目の富山の地域づくりを考える会は、「自分たちのまちを、トンボの目で見よう」と題し、地域の宝「いいところやコト」と、地域の課題「ちよっと困った、これから不安」を考える…の二つのテーマについて五つのグループで、ワークショップ(懇談会形式の意見交換)を行いました。

参加者からは、日頃、仕事やボランティア等で活動している経験から意欲的にさまざまな意見が出され、市民の手で地域をよくする仕組みづくりが、いよいよスタートしました。

これから伸ばしたい地域の魅力や課題などを話し合う

和気あいあいの富山像を語り合うDグループのメンバー

初めに、日頃、参加者が自分たちの感じている富山の魅力や地域の課題などを付箋に書き、自分の思いを語りながら模造紙に貼り付け、関連する事柄をまとめて、一つにくくる作業を行いました。すべてのグループが参加者から選ばれた進行役で進められ、真剣な中にも笑いの絶えない和気あいあいのうちに、時間のたつのも忘れて話し合いを進めていました。

最後には、話し合った結果を班ごとに、想いを貼り付けた模造紙を使って、ユーモアを交えて発表を行い、ワークショップを終了しました。

発起人代表のあいさつをする前田区長会長



建設的で活発な意見交換を

地域づくりを考える会は、市が地域の皆さんと進めていく協議会発足のための話し合いの場です。富山を元気ある住みよいまちにするために、建設的で活発な意見交換をお願いします。

講師の紹介

富山工業大学 鎌田弘教授

市民協働による地域づくり

「協働」とは、お互いの特性や能力を持ち寄り、連携協力することです。市民と行政が対等になり、違った意見を活かすことです。「協働」について南砺総市では、住んでよかったと思える地域づくりの方針にあげています。

協働の一番の効果は、参加して喜びや感動を感じられることです。そして、これからは市民が同じ方向を見るようにすることが大切です。また、市内それぞれの地域に地域推進室を設置し支援員が配置されたことで、行政区に加えて、市民の持ち味を活かした取り組みが期待できます。



講演する鎌田教授

市民にできることは何か話し合っています

地域の宝の中にはこれを活かすための課題が隠れています。課題の中にはこれを解消することによって宝にもなることもあります。まさに、地域の宝と課題は表裏一体の関係にあります。これから、皆さんから出されたアイデアを掘り下げて、地域市民ができる事業は何か、話し合っています。

- C班からは次の意見が出ました**
 - ・遠浅な海と歴史的な山々
 - ・豊富な歴史・文化遺産がある
 - ・観光の受け入れ態勢が整っている
 - ・豊富な農産物がある
 - ・富山学と盛んなスポーツ
 - ・伝統的な地域の文化活動が継承されている…など
- ◆鎌田教授の講評**
 - 受入れ体制として、「観光とスポーツ」を組み合わせて作り、意外な組み合わせにより、資源発掘する形になっています。
- E班からは次の意見が出ました**
 - ・安心安全な地域社会
 - ・モラルの低下による環境破壊
 - ・観光農業による地域の活性化
 - ・人口減少抑制のための後継者問題
 - ・自然、歴史、文化財の保存保護
 - ・若者を呼び寄せるための地域産業の振興
 - ・学校設備の改善…など
- ◆鎌田教授の講評**
 - 学識の方が揃っていて、国の問題のようなくくりを作っている。どうやってまとめしていくか興味津々。とてもセンスがいい。全体的に大きな課題があります。

参加者の声

話し合いがどのように進んでいくか楽しみ !!

- 新しい会議の進行方法に、初めに戸惑いがありました。でも、スムーズに楽しく話し合いを進めることができました。
- 一つひとつのことを深く考えてみる機会が持てよかったです。
- 課題の発表するところがなくて残念、是非、何かをまとめて市政に反映させたい。
- 身の回りには問題になることが沢山あることがよくわかりました。次回のテーマで考えてくることを、前もって教えてほしいと思いました。